

1 番 元案

1 基本理念

自然と歴史を活かした和のまちづくり
～「育てる」、「暮らす」、「躍動する」笑顔あふれる「ふるさと太子」～

大都市大阪市の近郊に位置しながら豊かな自然が残り、また誇れる歴史・文化を有するまち「太子」。**全国的な人口減少、少子・高齢化が本格化する今**、本町は将来に向けて大きな岐路に立たされています。地域間競争が激化する中、本町もまた若者世代、子育て世代等の流入を促進し、まちの活力やにぎわいをより一層高めていく必要があります。一方で、人口減少、少子・高齢化が進行する現実を見据え、持続可能なまちづくりを、厳しくなる財政事情の中で進めていかなければなりません。



中学生・住民ワークショップでは、本町の「いいところ」として、「二上山等の自然」や「叡福寺等の歴史・文化」等といった意見とともに、「歩いているとみんな挨拶してくれる」といった本町のコミュニティの豊かさが伺える意見もありました。一方、「改善したいところ」としては、「公共交通の不便さ」、「買物の不便さ」、「医療施設の少なさ」等の生活基盤に関わる意見が多数寄せられました。そして「10年後、20年後の太子町はどんなまちになって欲しいか」については、「若者が帰ってくるまち」、「こどもの声が聞こえるまち」、「高齢者に優しいまち」等の意見が多くの人からあがり、そのための取り組みについて活発な議論がなされました。豊かな自然や歴史・文化が残り、生活が便利で、かつ若者から高齢者までが生き活きと暮らせるまち。そんなまちをどのように実現するかが問われています。

住民参加のまちづくりの重要性が言われて久しくなりました。行政だけがまちづくりを進めるのではなく、公共サービスに積極的に住民の参画を求めていくことも重要となってきています。また、急激な人口変動の中、本町の将来像や進むべき方向性について考えることも、今後の持続的かつ安定的な住民サービスを提供していくためには必要なことです。さらに、DXが進む中、積極的にAIやICT等の活用が求められています。



本町では、豊かな自然と歴史・文化を活かしながら、人々が交流しあえるまちづくりがこれまでも行われてきました。しかし、これからの時代を乗り切るためには、これらの考え方は継承しながらも、新たな取り組みに挑戦していかなければなりません。**自然環境の保全と開発のバランスを適切に図りながら、新たなまちづくりの施策を積極的に展開します。**また、住民との協働、DX、広域連携等を持続可能なまちづくりのためにさらに一層取り組んでいきます。そして、これらのことを踏まえながら、「子育てしやすいまち」、「暮らしやすいまち」、「住民が生き活きと躍動するまち」、そんなまちづくりを聖徳太子の言葉「和を以て貴しとなす」をモットーに進めていきます。

子育てしやすいまち

親と子どもが安心して暮らし、成長できるまちづくりをめざします。



住民が生き活きと躍動するまち

住民が自分の力を最大限に発揮できる、住民参加のまちづくりをめざします。



暮らしやすいまち

住民が安全・安心、快適に日常生活を送れるまちづくりをめざします。



和を以て
貴しとなす！

図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-1 基本理念イメージ

1 基本理念

美しい自然と快適な暮らしが織りなす 笑顔あふれる「和のまち太子」



大都市大阪市の近郊に位置しながら豊かな自然が残り、また誇れる歴史・文化を有するまち「太子」。全国的な人口減少、少子・高齢化が本格化する今、本町は将来に向けて大きな岐路に立たされています。地域間競争が激化する中、本町もまた若者世代、子育て世代等の流入を促進し、まちの活力やにぎわいをより一層高めていく必要があります。一方で、人口減少、少子・高齢化が進行する現実を見据え、持続可能なまちづくりを、厳しくなる財政事情の中で進めていかなければなりません。



中学生・住民ワークショップでは、本町の「いいところ」として、「二上山等の自然」や「叡福寺等の歴史・文化」等といった意見とともに、「歩いているとみんな挨拶してくれる」といった本町のコミュニティの豊かさが伺える意見もありました。一方、「改善したいところ」としては、「公共交通の不便さ」、「買物の不便さ」、「医療施設の少なさ」等の生活基盤に関わる意見が多数寄せられました。そして「10年後、20年後の太子町はどんなまちになって欲しいか」については、「若者が帰ってくるまち」、「こどもの声が聞こえるまち」、「高齢者に優しいまち」等の意見が多くの人からあがり、そのための取り組みについて活発な議論がなされました。豊かな自然や歴史・文化が残り、生活が便利で、かつ若者から高齢者までが生き生きと暮らせるまち。そんなまちをどのように実現するかが問われています。

住民参加のまちづくりの重要性が言われて久しくなりました。行政だけがまちづくりを進めるのではなく、公共サービスに積極的に住民の参画を求めていくことも重要となってきています。また、急激な人口変動の中、本町の将来像や進むべき方向性について考えることも、今後の持続的かつ安定的な住民サービスを提供していくためには必要なことです。さらに、DXが進む中、積極的にAIやICT等の活用が求められています。



本町では、豊かな自然と歴史・文化を活かしながら、人々が交流しあえるまちづくりがこれまでも行われてきました。しかし、これからの時代を乗り切るためには、これらの考え方は継承しながらも、新たな取り組みに挑戦していかなければなりません。**自然環境の保全と開発のバランスを適切に図りながら、新たなまちづくりの施策を積極的に展開します。**また、住民との協働、DX、広域連携等を持続可能なまちづくりのためにさらに一層取り組んでいきます。そして、これらのことを踏まえながら、「自然や歴史を守るまち」、「暮らしやすいまち」、「笑顔あふれるまち」、そんなまちづくりを聖徳太子の言葉「和を以て貴しとなす」をモットーに進めていきます。

自然や歴史を守るまち

自然や歴史と調和したまちづくりをめざします。



暮らしやすいまち

住民が安全・安心、快適に日常生活を送れるまちづくりをめざします。



和を以て
貴しとなす！

笑顔あふれるまち

誰もが生き生きと、笑顔になれるまちづくりをめざします。



図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-2 基本理念イメージ

1 基本理念

和の心を次世代へつなぐまち「太子」 ～「自然を守る」、「暮らしを育む」、「未来を創る」みんなのふるさと～



大都市大阪市の近郊に位置しながら豊かな自然が残り、また誇れる歴史・文化を有するまち「太子」。全国的な人口減少、少子・高齢化が本格化する今、本町は将来に向けて大きな岐路に立たされています。地域間競争が激化する中、本町もまた若者世代、子育て世代等の流入を促進し、まちの活力やにぎわいをより一層高めていく必要があります。一方で、人口減少、少子・高齢化が進行する現実を見据え、持続可能なまちづくりを、厳しくなる財政事情の中で進めていかなければなりません。



中学生・住民ワークショップでは、本町の「いいところ」として、「二上山等の自然」や「叡福寺等の歴史・文化」等といった意見とともに、「歩いているとみんな挨拶してくれる」といった本町のコミュニティの豊かさが伺える意見もありました。一方、「改善したいところ」としては、「公共交通の不便さ」、「買物の不便さ」、「医療施設の少なさ」等の生活基盤に関わる意見が多数寄せられました。そして「10年後、20年後の太子町はどんなまちになって欲しいか」については、「若者が帰ってくるまち」、「こどもの声が聞こえるまち」、「高齢者に優しいまち」等の意見が多くの人からあがり、そのための取り組みについて活発な議論がなされました。豊かな自然や歴史・文化が残り、生活が便利で、かつ若者から高齢者までが生き生きと暮らせるまち。そんなまちをどのように実現するかが問われています。

住民参加のまちづくりの重要性が言われて久しくなりました。行政だけがまちづくりを進めるのではなく、公共サービスに積極的に住民の参画を求めていくことも重要となってきています。また、急激な人口変動の中、本町の将来像や進むべき方向性について考えることも、今後の持続的かつ安定的な住民サービスを提供していくためには必要なことです。さらに、DXが進む中、積極的にAIやICT等の活用が求められています。



本町では、豊かな自然と歴史・文化を活かしながら、人々が交流しあえるまちづくりがこれまでも行われてきました。しかし、これからの時代を乗り切るためには、これらの考え方は継承しながらも、新たな取り組みに挑戦していかなければなりません。**自然環境の保全と開発のバランスを適切に図りながら、新たなまちづくりの施策を積極的に展開します。**また、住民との協働、DX、広域連携等を持続可能なまちづくりのためにさらに一層取り組んでいきます。そして、これらのことを踏まえながら、「自然や歴史を守るまち」、「暮らしやすいまち」、「未来の世代を育むまち」、そんなまちづくりを聖徳太子の言葉「和を以て貴しとなす」をモットーに進めていきます。

未来の世代を育むまち

教育や文化を通じて希望ある未来を築けるまちづくりをめざします。



自然や歴史を守るまち

自然や歴史と調和したまちづくりをめざします。



和を以て
貴しとなす！

暮らしやすいまち

住民が安全・安心、快適に日常生活を送れるまちづくりをめざします。



図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-3 基本理念イメージ